

[対象入試] 2026年度 一般入学試験

【国語】

一般入試の問題は、大問2題で構成されている。どちらも3000字程度の長さの文章で、第1問はやや硬めの評論文、第2問は随筆または軟らかめの評論文である。難問・奇問はなく、常日頃のきちんとした学習の成果を問うオーソドックスな出題である。設問の形式は、一般的な現代文入試問題と異なることなく、書き取りや読み、空欄（抽象語、接続語等）補充、語意、四字熟語、文学史、脱文補充、傍線部の内容や理由の説明などの問いがあり、最終的なまとめとして本文の内容との合致問題があるなどバラエティーに富む設問で構成されている。したがって本試験の各設問を順次解いていくことにより、本文の内容理解がいつそう深まるように工夫されている。また、2つの文章を組み合わせた問題文を読み、その内容を比較対照し相違点を吟味することを通して思考の深まりをめざす設問形式の問題も設定している。

現代文の理解は、国語の入試対策であることはもちろんのことであるが、人々が生活するうえで不可欠な文章を読み理解する力を培うためのものでもある。それは他のあらゆる学問分野での勉学の土台となる力である。受験生諸君には、このことを意識して現代文の入試対策にしっかりと取り組んでいただきたい。